

## 浜岡原子力発電所 5号機 主復水器の導電率上昇に関する点検について (続報)

2011年5月20日

当社は、2011年5月18日から浜岡原子力発電所5号機の主復水器内部の確認作業をおこなっています。これまでに確認した状況について、お知らせします。

なお、確認作業は現在も実施しており、確認結果については、あらためてお知らせします。

### ＜これまでの確認状況＞

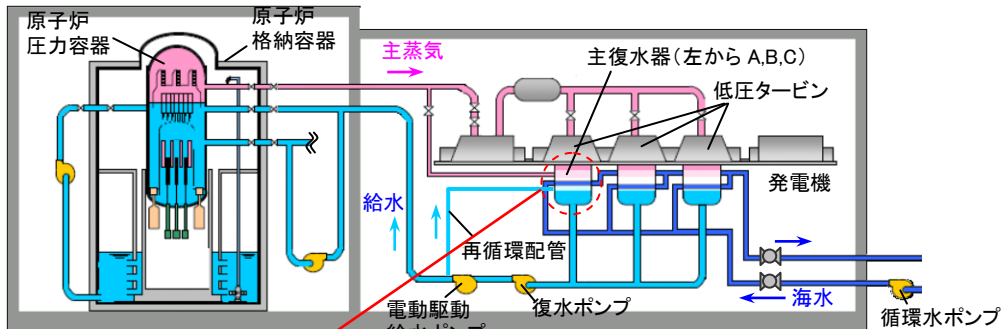
主復水器(A)内部で、約21,000本ある主復水器細管(以下、「細管」という。)のうち複数本が損傷していることを確認しました。

また、主復水器(A)内部に設置している電動駆動給水ポンプ※の再循環配管にもエンドキャップの脱落している箇所があることを確認しました。

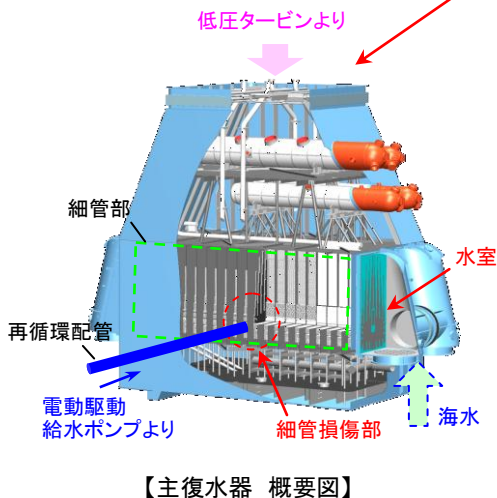
当該再循環配管エンドキャップ脱落箇所は、損傷した細管の前面にあり、事象発生当時、当該再循環配管には電動駆動給水ポンプから給水の一部を流していたことから、今後、これらの関連性を含めて、詳細に調査をおこないます。

また、主復水器の海水側である水室内に残留している海水から、放射性核種であるコバルト60を僅かに検出しました。コバルト60は、原子炉冷却水に含まれる天然のコバルト59が、中性子照射により変化したもので、原子炉冷却水中に一般に含まれる放射性核種です。

事象発生当時、主復水器内は真空状態であり、細管損傷により細管内部の海水が主復水器内へ流れる状態でした。水室内にコバルト60が移行したのは、主復水器の真空を解除した後であると評価しており、真空解除前に海水の出入口弁を閉止していることから、コバルト60を含む海水の海への放出はありません。今後、水室内に残留している海水の処理を行います。



【5号機 系統概要図】



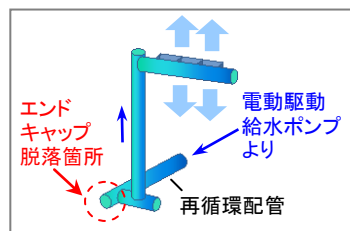
【主復水器 概要図】



【細管損傷部】



【再循環配管】



【主復水器内の再循環配管の概要図】



【脱落したエンドキャップ】

※ 電動駆動給水ポンプは、原子炉の起動・停止時に使用するポンプです。通常運転中は、タービン駆動給水ポンプで原子炉へ給水を送水しており、電動駆動給水ポンプは待機状態となっています。

以上